



校訓

考える人 心豊かな人 たくましい人

霧島市立国分南中学校

学校便り 7月号

令和7年7月1日発行

## 百年に一度のチャンス ～「新生シリコンアイランド九州」構想～

校長 平國弘明(ひらくに こうめい)

九州に今、「百年に一度のチャンス」が訪れていると言われている。それは、「新生シリコンアイランド九州」を合い言葉に様々な産官学(産業、行政、学校、金融機関)が一体となって、九州全体を活性化、発展させていこうとする動きが非常に高まっているからである。

九州は1960年代から90年代にかけて、半導体産業が非常に盛んであり、当時、半導体産業の大企業が集まっていたアメリカのシリコンバレーにあやかって、「シリコンアイランド」と呼ばれていた。1980年代後半には九州生産の半導体が世界シェアのなんと約10%を締め、日本全体で世界シェア50%を誇っていた。ところがその後30年で、そのシェアは5分の1にまで落ち込み、現状のままでは、ほぼ0%になってしまうという予測がなされていた。ここでエポックメイキング(時代の流れを変えるような変化)となりそうなのが、台湾の世界的半導体企業TSMC(台湾積体回路製造)の熊本県菊陽町への進出である。昨年末に第一工場が稼働し始め、今年中には第二工場の建設も開始されるという。この2つの工場では3,400人が雇用され、10年間で23兆円を越える経済効果が期待されるという。熊本県の稼働力も工場進出以前の2倍、7兆円に達すると見込まれている。実際に、この菊陽町やその周辺では、地価や時給などが大幅に上昇している。こうした動きは、九州各県にも影響を与えている。佐賀、宮崎、長崎、福岡に半導体関連の企業誘致が計画されており、鹿児島においても半導体関連工場誘致のための産業団地の準備が始まっているのだ。霧島市に工場を持つソニー、京セラも県内外に関連工場の建設を予定している。



TSMC 熊本第一工場 [NHKHP より]

話は戻るが、かつては世界の半導体の半分を製造していた日本。では、なぜ、その地位を失うことになったのか。一つの要因は、ニーズ(顧客の要望)に対応できなかったことである。技術さえしっかりしていれば勝てるという思い込みがあり、使いやすさとか市場がどういうものを必要としているのかということ把握したり、半導体に詳しい人材を育成したりということなどが足りずに、アメリカや韓国、台湾の企業にとって代わられることになってしまった。

そこで、今回はそれらの失敗も踏まえて、「新生シリコンアイランド九州」構想の5つの視点が考えられている。**視点1**:生産と応用の緊密な連携(デジタル技術を活用した新たな製品・サービスの創出。ユーザーのニーズを踏まえた商品開発など)。**視点2**:視点1に不可欠な大学や研究機関(人材確保・輩出、イノベーション、立地の呼び水)。**視点3**:諸外国・地域から学ぶ(先進地の取組を参考にする)。**視点4**:時代の潮流への対応(ものづくりとサービスを実現できる企業を巻き込む。それらの企業への九州の売り込み)。**視点5**:九州のポテンシャルを活かす(九州には資源の豊富さ、必要電力の確保、交通の便の良さという好条件が揃っている)。2040年、かつての「シリコンアイランド」の輝きを九州に取り戻すために、このような取組を産官学が一緒になって進めていくそうである。

時代の流れを掴み、また読み、目標を掲げ、見通しをもち、様々な立場の者が強みを発揮しつつ協働し、その取組を振り返る。そして、修正を加え、取組を重ねていく。この大規模事業の目標への道筋は、私たちの所属する集団やグループ、個人の目標に向けた取組の参考にもなるのではないだろうか。

参考:NHK「ザ・ライフ」5/30放送、NHKhp、電子デバイス産業新聞電子版、九州地域戦略会議資料

## 霧 島 市 子 ど も 人 権 セ ミ ナ ー 「ネット依存と健康被害～メディア・リテラシー講座～」

27日の5, 6校時、「霧島市の中学生を対象とした心豊かな生徒の育成と人権尊重のまちづくりの推進を図ること」を目的とした霧島市子ども人権セミナーが開催され、鹿児島県ネットリスクマネジメント副代表兼支部長である戸高成人さんを講師にお招きして、「ネット依存と健康被害～メディア・リテラシー講座～」という演題でお話をいただきました。最新の研究の知見やデータを交えながら、問題が起こってからの対処ではなく予防が重要、スマホを寝る前に長時間観ることによる睡眠障害、依存症になる要因、電子スクリーン症候群とはなどについて、わかりやすく教えていただきました。詳しい内容は、お子さんに聞いてみてください、ネットとの付き合い方について、語られてはいかがでしょうか。



### 期末テスト終わる

20日(金)に始まった期末テストが翌週の火曜日24日で終了した。本校の期末テスト前部活動停止期間はテストの5日前からであり、これまで、テストを水・木・金などその週内で行っている。ただ今回は、金曜日を1日目とし、土日を含んで、月・火という日程で行った。多少なりと、テスト勉強時間を確保することができればとの考えによるものである。効果はあったと考えるが、いかがだったでしょうか。

また、1年生にとっては初めての定期テスト。このように、3日間をかけて9教科ものテストを受けたのはまさに初めての経験だったと思う。最後のテストが終わった瞬間はなんとも言えない開放感を感じたことだろう。そして、先週は続々とそのテストが返却されたと聞く。ここからがまた大切である。教科担任の先生からの指示もあったかと思うが、テストのやり直しや解き直しがとても重要である。特にできていなかった問いについては、解答や解き方を丁寧に確認しておこう。加えて、今週末あたりまでには、もう一度、テスト問題を解き直そう。しっかり自分の学力として定着しているかを確認するためである。

### 第1回7校PTA

学校の教育活動を陰となり日向となり支えてくださっているPTA活動。国分南中学校区、7校のPTA(現在は5校5PTAが活動中)代表の方々と担当の先生方等が一同に会して、第1回7校PTAが6/20に開催され、それぞれの学校における活動のあらましや取組の重点について意見・情報交換等を行いました。

### 第1回学校保健委員会 及び給食運営委員会

25日には、標記の2つの会を開催しました。学校保健委員会は、生徒の健康の保持増進と体位の向上を図り、学校教育の効果をあげるため、学校運営に協力してくださる会であり、給食運営委員会は、学校給食の諸問題を検討、改善することを主な目的とした会です。いずれの会でも今日的な課題について、話し合っていたいただき、その解決方法を検討していただきました。多くの方々の力が生徒のみなさんを支えてくださっています。

### 受賞・表彰

- 5/17 霧島神宮旗野球大会3位
  - 5/31 南日本陸上競技大会3年男子100m3位  
及び共通男子200m3位  
同共通女子1500m6位  
同1年男子1500m1位  
(新記録賞・優秀選手賞)
  - 6/5 地区総体陸上競技3年男子100m1位及び共通男子200m1位  
同1年男子1500m1位  
同低学年男子4×100mR1位  
同1年男子100m2位  
同 // 4位  
同2年男子100m5位  
同1年女子100m5位  
同2年女子100m5位  
同1年女子800m4位  
同共通女子1500m4位  
同低学年女子80mH4位  
低学年女子4×100mR5位
  - 6/10 地区総体卓球競技団体Aパート3位  
同 // Bパート3位
  - 6/11 地区総体水泳競技女子100mバタフライ2位及び女子50mバタフライ3位  
同男子100m背泳ぎ2位  
同男子200m個人メドレー2位及び100m自由形2位  
同男子200mメドレーR3位  
同男子200mR3位  
同男子総合3位  
地区総体バレーボール競技女子2位  
地区総体ソフトテニス競技2位
  - 6/12 地区総体ソフトテニス競技個人5位
- ※全校朝会で受賞伝達を終えたものを掲載